

1 詩篇 100

感謝しつつ主の門に 賛美しつつ大庭に
心合わせ臨在に入れ
主はいつくしみ深い 恵みはとこしえまで
その真実が代々に至る

我らは主のもの主の民 その牧場の羊

※
知れ主こそ神 喜びの声上げよ
来たれ主の前で 喜びもって仕えよ

主イエス神の愛

主イエス神の愛 十字架に命捨てた
主イエス神の小羊 永遠の赦し与える

※
今受け取ります あなたの愛とあなたの赦し
今受け取ります 永遠の救いと癒し
命に溢れ祈る すべてを捧げます主よ
すべてを捧げます主よ

栄光 尊厳 力

栄光 尊厳 力は主のもの
栄光 誉れ 賛美は主のもの

【あなたの御顔を】

あなたの 御顔を 慕い求めます
心を尽くして あなたを愛します

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアの戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様と一緒にですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



大和カルバリーチャペルの教会員
日本画家 久住友理さんの作品より

祈りの小径(こみち)

Number: 176 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとのもの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

使徒行伝13章16～41節 の抜粋

16 そこでパウロが立ちあがり、手を振りながら言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を敬うかたがたよ、お聞き下さい。17 この民イスラエルの神は、わたしたちの先祖を選び、エジプトの地に滞在中、この民を大いなるものとし、み腕を高くさし上げて、彼らをその地から導き出された。18 **そして約四十年にわたって、荒野で彼らをはぐくみ、**19 カナンの地では七つの異民族を打ち滅ぼし、その地を彼らに譲り与えられた。20 それらのことが約四百五十年の年月にわたった。その後、神はさばき人たちをおつかわしになり、預言者サムエルの時に及んだ。21 その時、人々が王を要求したので、神はベニヤミン族の人、キスの子サウロを四十年間、彼らにおつかわしになった。22 それから神はサウロを退け、ダビデを立てて王とされたが、彼についてあかしをして、『わたしはエッサイの子ダビデを見つけた。彼はわたしの心になつた人で、わたしの思うところを、ことごとく実行してくれるであろう』と言われた。23 神は約束にしたがって、このダビデの子孫の中から救主イエスをイスラエルに送られた…

34 また、神がイエスを死人の中からよみがえらせて、いつまでも朽ち果てることのないものとされたことについては、『わたしは、**ダビデに約束した確かな聖なる祝福を、あなたがたに授けよう**』と言われた。35 だから、ほかの箇所でもこう言っておられる、『あなたの聖者が朽ち果てるようなことは、お許しにならないであろう』。

36 **事実、ダビデは、その時代の人々に神のみ旨にしたがって仕えたが、やがて眠りにつき、先祖たちの中に加えられて、ついには朽ち果ててしまった。**37 しかし、神がよみがえらせたかたは、朽ち果てることになかったのである。

3 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)



4 みことばの解説

旧約聖書を通じて、「神の住まい」はアップグレードしてきたことを学んできました。

【モーセの幕屋→ダビデの幕屋→ソロモンの神殿】
(9/14/21 祈禱会メッセージ)

ダビデの幕屋において特徴的だったのは…

- ① 賛美の供え物が中心だったこと
 - ② 誰でも「契約の箱」を見られたこと
- そしてアモス書9章、使徒行伝15章から、神様は終わりの時に、「ダビデの幕屋」を建て直される。それは詩篇27篇にあるように、「かたち」としての家(house)でなく「心の拠り所」として(Home)の教会です。主の家に永久に住みたい！と切望するダビデの心をもつクリスチャンを主は待っておられます。

使徒行伝13章では、使徒パウロが、ダビデについてこう書いています。(本日のテキスト)

- (1) ダビデは神の心になつた人であった
- (2) ダビデは神の思いをことごとく実行する人だった
- (3) ダビデは、その時代の人々に(神のみ旨に従って)仕えた人であった

ダビデの幕屋が、神の御心になつた「ダビデの心」をもって建て上げられたように、今日の教会もまた、ダビデの心をもった人たちによって建て上げられます。砕かれたたましいの人、ダビデの生涯と生き様を学び直し、私たちも…①神の心になつた人②神の思いを余すところなく実行する人③その時代の人々に仕える人…とさせていただきたいと願います！

もうひとり、「これは私の愛する子、私の心になう者である」と、天のお父様に直接語られた御方をご存知でしょう。彼はダビデの子として紹介されました。つまり、ダビデは意識しないまま、しかし主を慕い求めて心砕かれた生き様は、神殿そのものである「イエス様」の生涯と重ね合わされてゆくのです。栄光から栄光へ！